

2025.3月  
発行

No.  
54

# まひかの保育



発行者/愛媛県保育協議会  
会長/合田 史宣  
作成者/総務広報部会  
編集責任者/宇津見 亮子

発行所/愛媛県保育協議会  
松山市持田町三丁目8番15号  
愛媛県社会福祉協議会内



心も体も  
ぽっかぽか...♡

わ~~~~い!!!

番城美德  
認定こども園  
(宇和島市)



にこにこにっこり  
みんなできるとあったか~~~~い!

## 「結果より過程を大事に」

愛媛県保育協議会 会長 合田 史宣



大人の世界はある意味、失敗を許さない社会になっています。限りなく完全性を求められるのです。政治や外交に限らず、一般的なサラリーマンに至るまで、常に最大限の成果を要求されています。だからと言って、その価値観を子どもの世界に持つてくるのは間違いだろうと思います。なぜなら、子どもは何かの専門家ではないからです。

運動会や生活発表会などの行事で、子どもが失敗せずに何かをすることは喜ばしいことです。しかし、私たちは失敗したからと言って叱ったりすることはしないでしょ。それは、私たち保育者が、「子どもが何かを完璧にこなすこと」を期待するのではなく、「子どもたちが、何かたたくさんの経験を得られること」を大切にしたいからです。つまり、園行事が持つ役割は、その行事の中で、子どもたちが、仲間や先生と一緒に、いろいろな体験を重ねてもらうことであるはず。大人はすぐに子どもたちの成長や結果を見たがりですが、子どもにとっては、結果よりその行事に取り組み、力を注ぎ込む過程こそが大切だと私は思います。

上手に太鼓を叩きたい。でもなかなか叩くことはできません。どうやって叩けるようになるのか、まず自分で色々工夫してみますが、一人ではなかなか難しいことです。そこでみんなに教えてもらう。保育士の先生にも援助してもらおう。すると、だんだん上手に叩けるようになる。その過程で体験したあらゆる出来事やコミュニケーションが、子どもが成長する上で欠かせないものになっていくのです。

私たち保育者の目標は、子どもたちがどんな職業にも、どんな分野にも成長できる基礎能力をつけてあげることになるのではないのでしょうか。子どもたちはいずれ卒業し、大人になっていきます。その時に何にでもなれるような力をつけてあげたいです。そういう保育ができた時に、子どもは輝くのだからと思います。



事例発表会11月27日(水)

愛媛県総合社会福祉会館

①「新たな時代の保育実践」すべての子どもにむけて  
子どもたちがつながりあおうと広がる世界

発表園〇九町保育園(伊方町)

「交流保育」を一過性のものでなく、継続的に捉え「複数園合同で指導計画を立案する」といつ取り組みは、「主体的に考え行動が出来る子どもたちの育ち」を考える上で、子どもたちが自然な形で「地域の中で育つ」には効果的であると感じました。同じ保育方針・目線を保育者が持ち、「交流」の場にWEB等も活用し、「今の時代を生きる子どもたち」の育ちを促す保育実践、そして、保育者主導でなく「子どもたちの世界」の繋がりを広げていくことは、今後、子どもたちが育つ社会との繋がりを深めていく基礎となるものであり、保育者がその土壌を作ることは必要不可欠であると感じました。

「小規模園だから出来ること...ではなく、それぞれの保育現場に変容させながら取り入れてみたいと思います。」

松山市 余土保育園 林望美

②配慮を必要とする子どもや家庭への支援に向けて

発表園〇豊岡保育園(四国中央市)

私は、「配慮を必要とする子どもや家庭への支援に向けて」についての発表を聞き、子どもの「したい」というタイミングを待つことの大切さを改めて実感しました。また、子どもとの関わりだけではなく、保護者の想いや願いも大切に支援することを学ぶことができました。

松山市 立花こども園 松本美樹

私たちが関わり方に悩むのと同じように、保護者も子育てをしていく中で多くの悩みや不安を抱えていると思います。「保護者が抱える子どもに対する悩みや想いを安心して伝えることができる、保護者と同じ想いを共有して一緒に歩んでいける保育者になりたい」と感じました。保育者として悩んだ時には職員みんなで話し合い、子どもと家庭にとって最善の支援ができるようにつけていきたいと思います。

③保育者の資質向上を図り、保育現場の魅力を発信する

発表園〇緑保育園(愛南町)

現在、少子化の影響を受け、園児数が減少している園は多くあります。発表者の園では「コロナ禍後の保育を職員間で見直し、自然豊かな環境を活かして、積極的に保護者や地域との繋がりを深め、地域の方にとっても保育所が身近な存在になっていったとお聞きしました。」

地域との交流を計画する中で、繰り返し職員間でより良い方法を話し合うなどして工夫を重ねて行った事で、職場全体のスキルアップに繋がっていったのではないかと感じました。

また、「今後も地域とのつながりを大切に、様々な人達と交流する中で感動体験を増やし、豊かな心を育てていきたい」との方針に大変共感しました。我が園も地域と密着した園です。参考にさせて頂きたいと思います。

松山市 栗井保育園 清水里香



④地域の子育て家庭への支援の充実に向けて

発表園〇松山保育園(松山市)

松山市で取り組んでいる地域子育て支援事業(支援センター・親子教室・オンライン講座等)は、子育て世代の不安や負担の軽減、安心して子育てをしながら働くことができる環境につながっている。また、時代のニーズに合わせてSNSなどを活用することで、保護者が見たい時に気軽に確認でき、園に親しみを持ってもらうきっかけになったり、写真などを載せることで園の雰囲気や様子をアピールできたりするので、「ここに来てもつながりを感じる子育て環境の充実」につながっていると感じた。個人情報取り扱いに注意し、ルールを守りながら時代のニーズに合わせてSNSが普及していけると良いと感じた。

松山市 中須賀保育園 西高知穂



⑤子どもより良い育ちにむけた関係機関とのネットワーク

発表園〇志々満保育園(今治市)

新居浜市 みどり園保育所 菊池 瞳

私は以前綱敷天満神社に参拝したことがあり、その際に志々満保育園を通り、拝見したことがありました。自然豊かで海も近くにあり環境に恵まれていると感じました。事例発表中は、自分の園と比較しながら聞いていました。環境にもよると思いますが、他園との交流や小中学校、地域とのつながり等が、志々満保育園は、とても多いと感じました。この園では地域を巻き込んだ避難訓練をしているそうです。日頃から地域の方々と交流しているからこそ災害時等で助け合う事が出来ることを学びました。

この事例発表から、災害時等に助け合えるよう自分の園を地域に認知してもらうために園内研修を行い、保育士の理解を深め合って今後の保育に生かしたいです。

⑥家庭や地域との連携による食育の推進

「食に感謝する心を育てる〜」いただきますにつながる活動〜

発表園〇高津保育園(新居浜市)

新居浜市 新居浜保育園 清田 順子

事例発表を聞いての率直な感想は、「楽しそう〜」でした。子ども達だけではなく、保育士等も楽しみながら取り組んでいる様子が、いろいろな活動を通して感じる事ができました。

要旨が「家庭や地域との連携による食育の推進」ということで、コロナ禍を経て、行事や地域との連携も控えていたことで、また一から構築していくのは大変なこともあったと思います。保護者へのアンケート結果を踏まえ、今まで取り組んでいた「食育」を見直し、子どもの興味に合わせた野菜を育てたり、小学生や地域の方と野菜作りをしたり、農家の方に田んぼやハウスの栽培を見させてもらうなど、園の特色を生かした活動をされ、大変参考になりました。自園では何ができるのか見直し、楽しみながら「食」への興味関心を高めていけるよう取り組んでいきたいと思えます。

⑦「保育の社会化にむけて」保育の営みをいかに社会に発信するか〜園の外に飛び出すっ!

発表園〇さくら幼児園(伊予市)

新居浜市 朝日保育園 大西 智子

さくら幼児園では、SDGsが園の理念や保育に合致していると感じ、取り組みことになりました。子ども達と一緒に社会へ飛び出すきっかけとなり、子どもや職員に興味関心、園内研修を通し、保育の中で子ども達と一緒に野菜を育て、虫や植物の共生、プラスチックへの興味へと広がっていきました。この取り組みを社会に発信する。愛媛県SDGs推進企業にも登録。ホームページや取組事例集で紹介され、二〇二二年度には「えひめSDGsアワード」にて最優秀賞を受賞され、多くの方に園の取り組みを発信することができました。地域における取り組みのさくらバザー、水難防止講習、園の防災の取り組みを発信、黄色い丘国産ミモザ植樹祭への参加等、様々な体験から価値観を体験し、子ども達には大きな変化が見られました。子ども達が興味・関心を持ったことを保育者が社会に繋げる役目とし、視野の広さや関係性の広がりが必要なことだと感じました。

⑧公立保育所・公立認定こども園等の使命と地域社会での役割

発表園〇八雲保育園(松山市)

新居浜市 東田保育園 中尾 みゆき

松山市立八雲保育園の事例発表では、地域全体の保育の質の向上にむけた公立保育所・公立認定こども園等の意義や役割の意識の普及、行政機関でもある特性を生かした具体的実践のあり方について深く考える機会となりました。

特に、医療ケア児の受け入れにおいては行政機関と共にチームを構築し、人的・物的環境を整えながら的確に進めていることは、新居浜市も医療ケア児の受け入れを視野に入れて進めている過程にあるので、知りたい実践内容を学ぶことができました。課題はその都度、表出すると思いますが、公立保育所の役割の重要性・必要性を職員一人ひとりが理解し保育を進める姿に力強さを実感し、新居浜市も松山市のように積極的に役割を果たすべく、改めてこれからの保育を進めていく必要性を感じました。

第69回愛媛県保育事業研修大会

9月24日(火)愛媛県民文化会館

○基調報告「保育施策の動向と全国保育協議会の取り組み」

愛媛県保育協議会 会長 合田史宣

○記念講演「子どもの声を聴くことの大切さ」

新見公立大学 健康科学部 健康保育学科 准教授 入江慶太氏

○パフォーマンス「スタンダードジャズをあなたに」

ジャズピアニスト 小野孝司氏

第69回愛媛県保育事業研修大会を受講して

今治市 大三島認定こども園 重元裕実

「子どもの声を聴くことの大切さ」を受講し、自分が子ども達にとって「自分の思いを表現したくなる人」なのか、日々の保育を振り返る良い機会となりました。

子どもが自分の思いを表現したくなる人とは、「子どもの声を聴く人である」ということでした。子どもの声を聴く時の保育者の姿勢について、「大人と子どもでは能力に差はあるが、人生を生きる人間同士として『対等』であること。子どもの動きを真似、同じ動作をすることにより、子どもの世界を共に歩み、その子どもを考えを見て、理解ができる。相手を変えられないので、自分の見方や考え方を換え、あるがままに付き合っこと』を教えて頂きました。また、子どもに掛ける様々な言葉についても、『ほめ言葉は、子どもに自信をつけさせることができるが、一方で『ほめ言葉は、その子を評価している言葉でもある』と知りました。

今、自分がしている保育を振り返った時に、『ほめるように心がけていることが多く、それは子ども達に自信が付き、良い声掛けだと思っていました。しかし、『ほめ言葉の多い生活空間は、評価する視線にさらされ続けて生活しているという事に気づかされ、『ほめる』のではなく、『認める』言葉を掛ける大切さを学びました。より良い保育をするために、子ども達を評価せずに『あなたの考え分かったよ』と伝えられる叙述語(子ども自身の行動結果、子どもが見ているものを写生するように語る言葉)や共感語(気持ちの中身を語る言葉)を多く使いながら、日々、子ども達と関わっていきたいと思います。



保育士を続けたい！をサポートします

あなたの力で子どもに笑顔を

愛媛県保育士・保育所  
支援センター

愛媛県 保育士応援  
キャンペーン!

「いつもありがとう」を込めた応援事業を実施中

- ・臨床心理士による相談会
- ・日頃の感謝を込めて応援グッズプレゼント
- ・保育士さんのがんばりを映像で公開  
TVCMやYoutubeで配信中



学び 保育のスキルを上げたい

- ・興味のある分野の知識を深め、現場で生かせる研修
- ・スキルアップしたい方への外部講師による  
保育実習セミナー

相談 小さなモヤモヤを聞いてほしい

- ・定着や就職に関する疑問や不安について

情報提供

- ・利用できる制度のご案内
- ・保育所等の情報、求人募集について

〒790-8553

松山市持田町三丁目8番15号  
愛媛県総合社会福祉会館2階  
愛媛県社会福祉協議会 福祉人材部 人材研修課  
TEL：089-921-5344 FAX：089-921-3398

HP



Instagram



登録・相談  
参加費  
無料





愛媛県教育・保育施設長研修会

12月6日(金)愛媛県民文化会館

○講義Ⅰ 『幼保小の架け橋プログラム』とは何か。幼児教育と接続に求められるもの」

千葉大学 名誉教授・千葉敬愛短期大学 前学長 明石 要一氏

○講義Ⅱ 「保育の質向上を目指す園づくりの」園長、ミドルリーダーの役割とは」

玉川大学教育学部 教授・東一の江こども園 園長 田澤 里喜氏

愛媛県教育・保育施設長研修会を受講して

喜多郡 大瀬保育園 河内 真弓

今の幼児が抱える課題を具体的に聞くことで、生活様式や習慣などの変化により、以前は当たり前にしてきたことができなくなったり、体の力が弱くなってきたりしていることに危機感を感じました。幼児期の経験の一つひとつが、今後にかかわってくることを念頭に置き、発達を促え、職員と確認しながら幼児期に必要な体験を意識していきたいです。

自園は小学校に隣接しており、交流も多く、子どもたちもいつも学校の様子を目にしていますが、幼児期に遊びの中で培った力が小学校での学びにつながっているの、自ら楽しめる遊びを意識して取り組み、小学校との連携にも努めていきたいと思っています。

「保育もマネジメントも大切に行っていることは同じ。」「保育と同じ考え方で新人を育てる。」「など、子どもたちの遊びや保育者の取り組み等、事例を交えながらの講演で楽しく学ぶことができました。」「主体性」は、「自分らしく」いられることと、「子どもたちも保育者も指示命令に従う日常からは」「やりたい」「は生まれにくい」と聞いて、子どもたちも、職員もやりたいことを発信できるように保育内容や行事、業務内容、園の環境等も見直していきたいと思いました。自分らしく安心して仕事のできる環境は子どもたちにとっても同じだろうと思います。」「子どもがいてほしいと思うような先生」「保育者がいてほしい園長」を目指して信頼し合える関係を作りたいです。



# 第31回 日本保育保健学会 in えひめ

地域で子どもを育み、  
家庭を支える

～保育・教育 / 保健・福祉 / 医療の連携～

【会 期】2025年5月10日(土)・11日(日)

【会 場】愛媛県医師会館 〒790-8585愛媛県松山市三番町4丁目5-3

【開催方式】現地開催&オンデマンド配信

【参加対象】保育士、看護師、保健師、医師・歯科医師など  
(保育と教育をとおして子育て支援に携わる方々)

【お問い合わせ】運営事務局/愛媛大学生協同組合 担当/白川・田中

TEL : 089-925-5801 ☑ : ehime-gakkaisupport@ehimedas.com



日本保育保健学会  
ホームページ

# 令和7年度 研修等日程のお知らせ

※内容や実施期日は変更する場合があります。最新の情報はホームページ「えひめの保育」をご確認ください。

【URL:<https://www.ehime-hoiku.jp/>】



## 【愛媛県保育協議会事業】

★マークは本会個人会員のみが受講できる研修です。

No.	名称	内容等	
1	保育関係者交流セミナー (保育のおしごとフェア)	期日	6月8日(日)
		会場	松山市総合コミュニティセンター
		対象	・保育士等の職員採用予定がある施設 ・現役で教育・保育施設に従事する職員 ・保育を学ぶ学生、教育・保育施設への就職・転職を希望する方、潜在保育士等 ・お子様連れのご家族
2	初級職員研修会	期日	6月27日(金)
		会場	愛媛県県民文化会館 2階「真珠の間」
		対象	職務従事経験3年未満の職員(職種不問)
3	副主任・専門リーダー研修会 ★★	期日	7月4日(金)
		会場	愛媛県総合社会福祉会館 2階「多目的ホール」
		対象	副主任・専門リーダー
4	第70回 愛媛県保育事業研修大会	期日	9月7日(日)
		会場	愛媛県県民文化会館 1階「サブホール」
		対象	全員(非会員の方は:有料)
5	主任保育士・主幹保育教諭研修 ★★	期日	11月12日(水)
		会場	愛媛県県民文化会館 2階「真珠の間」
		対象	主任保育士・主幹保育教諭
6	事例発表会 ★★	期日	11月27日(木)
		会場	愛媛県総合社会福祉会館 2階「多目的ホール」
		対象	全員
7	施設長研修会	期日	12月9日(火)
		会場	愛媛県県民文化会館 2階「真珠の間」
		対象	教育・保育施設の施設長・経営者 等
8	中堅保育士研修会 ★★	期日	1月28日(水)
		会場	愛媛県総合社会福祉会館
		対象	職務従事期間が概ね3～8年目の保育士

## 【保育士等キャリアアップ研修(eラーニング)】

研修テーマ	配信期間	募集期間
①乳児保育	7月1日(火)～22日(火)	5月中旬～
②幼児教育	8月1日(金)～22日(金)	
③障がい児保育	9月1日(月)～22日(月)	6月下旬～
④食育・アレルギー対応	10月1日(水)～22日(水)	7月下旬～
⑤保健衛生・安全対策	11月4日(火)～25日(火)	8月下旬～
⑥保護者支援・子育て支援	12月1日(月)～22日(月)	9月下旬～
⑦マネジメント研修	1月8日(木)～29日(木)	10月下旬～
⑧保育実践研修	2月5日(木)～26日(木)	11月下旬～

## 【全国保育協議会主催】

No.	研修会名	開催日	開催地
1	教育・保育施設長ステージアップ研修 ①基礎編 ②専門・発展編(前期) ③専門・発展編(後期)	①7月(調整中) ②11月(調整中) ③2月(調整中)	全社協(東京都)
2	公立保育所・公立認定こども園等 トップセミナー	8月(調整中)	リアルタイム配信+ オンデマンド配信
3	全国教育・保育研究大会(東京大会)	11月20日(木)~21日(金)	東京都
4	認定こども園研修会	1月(調整中)	全社協(東京都)

※「1 教育・保育施設長ステージアップ研修」を全課程修了された方には、参加費の全額助成があります。

## 【全国保育士会主催】

No.	研修会名	開催日	開催地
1	第37期主任保育士・主幹保育教諭 特別講座 ①前期集中講義 ②WEB講義 ③後期集中講義	①6月20日(金)~22日(日) ②7月26日(土) ③9月26日(金)~28日(日)	①全社協(東京都) ②ライブ配信 ③ロフォス湘南
2	食育推進研修会	7月31日(木)~8月1日(金)	ホテルグリーンタワー 幕張(千葉市)
3	「保育スーパーバイザー」養成研修会	8月21日(木)~22日(金)	全社協(東京都)
4	第52回全国保育士研修会	2月(調整中)	調整中

※「1 主任保育士・主幹保育教諭特別講座」には、参加費の全額助成があります。

## 【四国ブロック開催】

No.	研修会名	開催日	開催地
1	四国ブロック保育研究大会(徳島大会)	7月8日(火)	グランヴィリオホテル徳島 (徳島市)
2	四国ブロック保育組織次世代リーダー研修会 /保育士会リーダーセミナー	11月12日(水)	愛媛県民文化会館 2階「真珠の間」

※四国ブロック研修は、本会会員のみ受講が可能です。

※「2四国ブロック保育組織次世代リーダー研修会/保育士会リーダーセミナー」は、主任・主幹保育教諭研修と同日開催です。

## 【その他、協力団体が実施する研修】

No.	研修会名	開催日	開催地
1	第31回日本保育保健学会inえひめ	5月10日(土)~11日(日)	愛媛県医師会館(松山市)
2	保育士対象動物教室	12月4日(木)	とべ動物園





# おすすめのほん



2020年度から宇和島市内の中学校で取り組み始めた性の学び「宇和島こころまじわうプロジェクト」。2021年度からは小学校にも広がり、現在は就学前にも「幼児期からもこの取り組みを」ということで、各園で絵本などを通して、お互いの体を大切に作る取り組みを行っています。取り組みの中で活用しているおすすめの絵本を紹介します。



## ふわふわとちくちく

【監修】 齋藤 孝  
【絵】 川原 瑞丸  
【発行】 日本図書センター

「ふわふわことば」は相手の心が元気になったり、たのしくなったりする言葉・・・「ちくちくことば」は相手の心が痛くなったり、切なくなったりする言葉・・・たくさんの「ふわふわことば」を子どもたちと探してみるのも楽しい絵本です。

## だいじだいじどーこだ？

【作】 えんみ さきこ  
【絵】 かわはら みずまる  
【発行】 大泉書店

じぶんのからだ、おともだちのからだの大事なところを絵を通して確認していきます。乳児さんから年長児まで分かりやすく、からだのおやくそくもあわせて、理解できる1冊です。



## ここからかるた

【考案】 染矢 明日香  
【監修】 良 香織  
【発行】 合同出版

「こころ」や「からだ」に関する質問に答えながら、子どもたち同士でやりとりして遊べます。人との関わりについて遊びながら学べます。年中・年長さん向けの“お話しかるた”になります。



## 令和6年度保育問題対応協力金のご報告

会員施設の皆様から、合計 **723,980円**の協力金をお預かりしました！

令和6年12月には、東京都にある議員会館を訪れ、予算要望活動を行いました。その他、全国保育協議会へ送金し、保育制度の充実強化を目指すために活用します。ご協力いただきありがとうございました。